

## ミニワークショップ 「JSL の子どもとともに学ぶ」

- 小中高校生を対象とした内容重視の日本語教育 -

文部科学省の調査によれば、国内には日本語指導が必要な子どもたち(小中高生)が、2万人以上います。日本語での教科学習や社会参画となれば、もっと多くの子どもたちが、日本語学習の必要性を感じています。この子どもたちに、日本語とともに、教科や社会・文化についての知識やスキルを育み、社会で自己発揮する力をつけていくことが、私たちに日本語教師に期待されています。この研修では、昨年度の研修に引き続き、日本語を母語としない小中高校生を対象にした内容重視の日本語教育の方法を、具体的に考えていきます。各回、学校現場の先生に、実践報告をしていただきます。そして、内容重視の日本語教育を、参加される皆さんの地域や学校の教育現場でどう実施するか、話し合い・ともに考え、作ってみたいと思います。子どもたちの日本語教育に関わっている皆さん、是非、ご参加ください。

日 時 : 2008 年 11 月 1 日(土) 15 日(土) 13 時 ~ 17 時

場 所 : (財)言語文化研究所附属東京日本語学校(ナガヌマスクール)

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16 号 26 番

JR 渋谷駅南口から徒歩約 10 分

対 象: 地域で年少者を対象に活動する日本語学習支援者や学校教員、  
年少者への日本語学習支援に関心がある日本語教師  
外国人児童生徒教育の関係者

定 員: 30 名

講 師: 齋藤ひろみ(東京学芸大学)

実践報告者: 菊池 聡 (横浜市いちょう小学校 教諭)

菅原 雅枝 (関東国際高等学校 講師)

受講料: 会員 1 回 3,000 円 (2 回連続参加の場合 5,000 円)

一般 1 回 3,500 円 (2 回連続参加の場合 6,000 円)

学生 1 回 2,500 円 (2 回連続参加の場合 4,000 円)

応募書類受領後に振込先口座番号等をお知らせします。

一旦納入された受講料の返金には応じかねます。

申込：締め切り 10月19日

方法 以下の書類を、郵便、FAX、メールのいずれかの方法で下記までお送りください。

**応募用紙**(MS Word)ダウンロードしてご利用ください

メールでの応募はタイトルを「**集中子ども研修応募**」としてください。

応募書類は返却いたしません。

この募集に関して集めた個人情報は、本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

送付先 (社)日本語教育学会 教師研修委員会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館2F

TEL:03-3262-4291 FAX:03-5216-7552

Eメール:kyoshikenshu@nkg.or.jp

HP:http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/

## 研修内容の詳細

第1回(2008年11月1日)

「テーマ学習をデザインするー小学生を対象とした内容重視の日本語教育」

講師:齋藤ひろみ

実践報告:菊池 聡

目標:内容重視の日本語教育の考え方にに基づき、小学生年齢の子どもたちの学習を支える日本語の力を育成する教育方法を考える。中でも、テーマ学習を取り上げ、実践例の紹介や、活動計画作成の活動への参加を通して、テーマ学習のデザインについて理解し、実践する力を高める。

活動内容:

講義「テーマベースの日本語教育の方法とその理論的背景」

実践事例の紹介 報告者:菊池 聡

小学4年生対象の「テーマ学習」

テーマ学習をデザインする(活動計画を立てる)

作成した活動計画の共有化

(ポスターセッションか模擬授業)

第2回(2008年11月15日)

「日本語と教科の統合学習をデザインする - 中高生を対象とした内容重視の日本語教育」

講師:齋藤ひろみ

実践報告:菅原雅枝

目標:中学生、高校生年齢の子どもたちを対象に、子どもたちの既有知識やスキルを活かして行う、日本語と教科の統合した教育の方法を考える。実践事例の紹介や活動計画作成を通して、日本語と教科の統合学習のデザインについて理解し、実践する力を高める。

活動内容:

講義「日本語と教科の統合教育の方法と理論的背景」

実践事例の紹介 報告者:菅原雅枝

高校生対象の「日本語と社会科の統合学習」

統合教育をデザインする(活動計画を立てる)

作成した活動計画の共有化

(ポスターセッションか、模擬授業)